

来場者に心づめて・・・！！

ここまで映画の楽しみ方を掘り下げてきたが、次はスタッフについて紹介しようと思う。今回インタビューに伺った劇場では三十〜四十人ほどの従業員が働いている。主な仕事は、上映する作品を決めてスケジュールを組んだり、運営の安全確認をしたりすることだ。例えば小さな子供が来場する時間帯に幼児向けの作品を上映するなど、来場者のことをよく考え、他にもたくさん仕事をこなしている。スタッフには映画好きの方も多く、映画の先行無料上映サービスも設けられているようだ。今回インタビューを受けてくださった坂井さんも元々映画が好きで、アルバイトで映写室の担当をした時に映画館の仕事が楽しいと感じ、ここで働きたいと思って映画館の支配人に就職したそうだ。一人一人とのコミュニケーションを大切にし、訪れた人に楽しんでもらえることがやりがいだと坂井さんは言う。

↓映画館について説明して下さる支配人の坂井さん



編集後記

今の時代、公開後少し待てばDVDやサブスクなどで家でも映画を鑑賞することができる。それでも私たちが映画館へ行くことに意味を見出すのは、劇場が現実を忘れて心から作品の世界に集中することができる場所だと感じているからだと思う。

そんな全国のイオンシネマを運営するイオンエンターテイメント株式会社は、今年で創立三十周年を迎える。私たち来場者を笑顔にする工夫がたくさん詰まった映画館で、これから映画を心から楽しみたいと思う。



↓館内に展示されたイオン三十周年のボード



←取材日の上映スケジュール

